

平成 30 年度医道審議会歯科医師分科会 歯科医師臨床研修部会(第1回)	資料 2
平成 30 年 7 月 31 日(火)	

歯科医師臨床研修制度の次期制度改正に向けた議論のたたき台

1 研修内容について

- 平成 28 年度に歯学教育モデル・コア・カリキュラム及び歯科医師国家試験出題基準の同時改訂が行われたが、養成過程における教育・研修内容の一貫性を保つ観点から研修内容についてどう考えるか。
- 歯科医療を提供する患者層や歯科医師の就業場所が多様化している中で、歯科医師のキャリアパスに応じた研修内容についてどう考えるか。また、全身管理、訪問歯科診療の必要性についてどう考えるか。
- その他、研修内容について議論すべき課題がないか。

2 臨床研修施設について

- 臨床研修施設は、人員体制や研修期間等によって、単独型・管理型・協力型・連携型の類型に分類されているが、各々の施設基準や研修方法についてどう考えるか。
- 研修歯科医の多くは、歯科大学附属病院に集中しているが、当該病院の負担軽減を図りつつ、当該病院以外（歯科診療所、病院歯科）でも臨床研修を積極的に進めていくためにはどのような方法が考えられるか。
- その他、臨床研修施設について議論すべき課題がないか。

3 指導体制について

- 歯科医療を取り巻く状況を踏まえつつ、教育的効果を高める観点から、指導歯科医講習会の内容についてどう考えるか。
- 指導歯科医の質を担保することは効果的な研修を行う上で重要な要素であるが、そのためには、どのような対応が考えられるか。
- その他、指導体制について議論すべき課題がないか。

4 その他

- 地域医療を確保する観点から、定期的に医師臨床研修制度は見直しが行われているが、これらの状況を踏まえた対応が必要か。
- 歯科診療所等が積極的に臨床研修に参加するために、事務手続きの簡素等の対応が必要か。
- その他、質の高い歯科医師を養成するために、どのような対応が必要か。